

# 生活と心理臨床

—施設心理臨床の理論とは何か—

企画者：茂木洋（四天王寺大学） 樋口啓司（大阪府子ども家庭センター）

司会者：新美裕之（あゆみの丘）

話題提供者：下笠幸信（東光学園） 永井享（希望の杜） 益田啓裕（あゆみの丘） 樋口啓司（大阪府子ども家庭センター）

指定討論者：茂木洋（四天王寺大学）

企画趣旨：施設心理臨床では現場の状況に即した臨床実践が求められることが多いが、いわゆる"柔軟対応"はその場しのぎのやり方になりかねない。では、それぞれの状況に対応するという方法論を超えた「施設心理臨床の理論」というものはあるのだろうか。心理臨床の理論とは「心をどのようなものとしてとらえるか」、それにもとづいて「心をどのように扱うか」を示したものといってよいだろう。今回の自主シンポジウムでは「施設において心をどのようなものとしてとらえるか」「施設において心を扱うとはどういうことか」について議論することで、施設心理士として何に準拠し、何を指すのかを考える機会としたい。